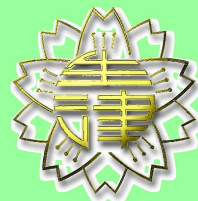


# まごころこめて磨き合う なまづっこ



「なかまと まごころこめて すすんで やりぬく子」  
 ～学び磨き・こころ磨き・健康磨き～

2023.4.28 発行

## 豊かな体験が子どもを育む！



「今ね、電気代がすごく高くなっているのだから。」

「家の電気代を調べたら〇円だったよ。」

「電気を作るのに、石油や石炭、天然ガスの燃料が必要と分かったよ。」

低学年の子どもが話していました。また、こんな話もありました。

「ウクライナの人たちは本当に哀しいだろうね。」

「戦争前はとっても美しい国だったのに、今は全く変わってしまったからさみしいと思うよ。」

上記のお子さんは、もしかしたら、お家の方が新聞やテレビなどの話題を話したことで、自分の家の電気料金はどうなっているかを知りたくなったのかもしれない。また、もしかしたら、平和だったころのウクライナの街並みを調べてみたくなったのかもしれない。

思いやりの心、命や自然の大切さ、約束を守ることなどは、教えられて学ぶというより、体験を通して、自らが気づき、実感することで得られるものです。豊かな体験をすることは、時間やお金がかかるようなイメージがありますが、決してそうではありません。公園や川のほとりを一緒に散歩するだけでも子どもの好奇心は触発されます。そして、子どもの興味に寄り添いながら自分で考える道へと導いていくことが「考える力」のもととなっていきます。また、こういった様々な体験を積み重ねることにより、自ら考え、自ら行動する姿勢を身に付けることができるようになっていきます。

ものを覚える力も大切ですが、「主体的に取り組む力」「知識を使いこなす力」「自分で考える力」を育てていくことが今、大切とされています。これらの力は、すぐには身に付いていくものではありません。豊かな体験を通し、積み上げていきたいと思えます。

保護者の皆様、地域の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

4月のスローガンは、「美しく整える・学ぶ」でした。いつでも、どこでも、話す人に自分の体を向けて、聴くこと頑張りました。

### 【全員の心が一つに！】

先生からの問いに、一人一人が自分の考えをつかって交流にいかしています。



### 【全校が集まっても静か！】

全校の児童が姿勢を正し、話す人の目を見て、話を聞くことができます。



### 【1年生も素晴らしい！】

集まる場所にさっと行き、地区ごとに早く並んで、先生の話の聞くことができます。

